

28年度富山県の配置用医薬品生産額

前年比3.9%増で95億5千万円 前年比増は平成21年以来7年振り

発行：日本置き薬協会 事務局

富山県厚生部くすり政策課は1月21日付けで「平成28年度富山県薬事工業生産動態統計年報」を公表した。それによると平成28年度の富山県の配置用医薬品生産金額は前年比3.9%増の95億5,385.5万円だった。その内、自社製造分は86億7,855.7万円、受託製造分は8億7,529.8万円。

前年比でプラスになるのは平成21年以来7年振りとなる。同年の全国の配置用医薬品生産額は172億7,600万円（前年比8.9%減）で、全国生産額に占める富山県の割合は55.3%（前年は48.5%）に増加した。

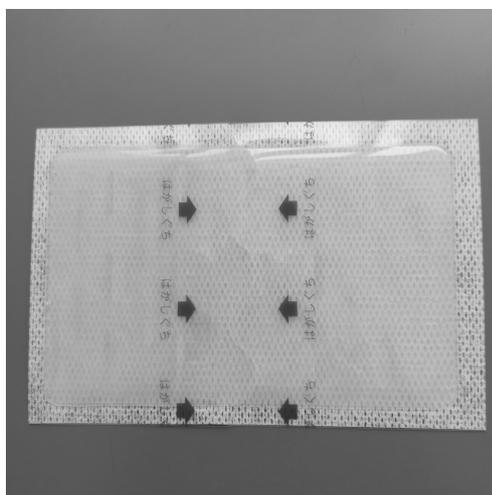
○富山県の配置用医薬品生産額

| | | |
|-------|-----|---------------------|
| 平成7年 | ピーク | 312億1,000万円 |
| 平成18年 | | 200億円を割る |
| 平成25年 | | 100億円を割る |
| 平成28年 | | 前年比3.9%増の95億5,000万円 |

○自社製造における薬効分類別生産金額（86億7,855.7万円）

| 薬効分類 | 生産額 | 前年比 | 構成比 |
|-----------------------------|--------------|----------------------|-------|
| 1. 総合感冒薬 | 15億8,612.5万円 | 1億2,963.1万円 (8.9%) 増 | 18.3% |
| 2. 複合胃腸剤 | 10億4,352.9万円 | 3,300.2万円 (3.3%) 増 | 12.0% |
| 3. 混合ビタミン剤（ビタミンA, D混合製剤を除く） | 9億1,663.5万円 | 9,637.1万円 (11.7%) 増 | 10.6% |
| 4. 解熱鎮痛剤 | 8億6,130.6万円 | 3,594.4万円 (4.0%) 減 | 9.9% |
| 5. 漢方製剤 | 6. 総合代謝性製剤 | 7. 鎮痛・鎮痒・収斂・消炎剤 | |
| 8. 止瀉剤 | 9. 強心剤 | 10. 眼科用剤 | |

「配（ハイ）！置（チ）ーズ」と微笑みそうな配置市場製品



左 大協薬品工業(株)カールバン W 第3類医薬品の救急絆創膏（¥500）24枚入り 絆創膏がカール状のカット
 右 同社のシートポップID 第2類医薬品（¥600）4枚入り 膏体を支える不織布と周囲の接着剤部分が一体
 双方共に皮膚患部の接合性が大変優れ、比較的長時間の使用に耐えられ、効果的な治癒が可能。ロングセラー商品であり、その継続性から配置箱の引き上げ対策ともなっている。